

# 親のための10の心得

- 1 試合や練習を見に行ってください。  
— 子どもはそれを望んでいます。
- 2 試合ではすべての子どもを応援してください。  
— 自分の子どもだけではいけません。
- 3 調子の良い時だけでなく調子の悪い時を勇気づけてあげてください。  
— 批判してはいけません。
- 4 チームリーダーを尊重してください。  
— 彼らの判断に圧力をかけないようにしましょう。
- 5 レフリーはインストラクターとみなしましょう。  
— レフリーの判定を批判してはいけません。
- 6 子どもが参加することを刺激し、勇気づけてあげてください。  
— プレッシャーにならないように。
- 7 試合がエキサイティングだったか、楽しかったか、聞いてあげてください。  
— 結果だけを聞くことのないように。
- 8 サッカーにふさわしい、節度ある用具を準備してあげてください。  
— 大げさになってはいけません。
- 9 クラブの仕事を尊重してください。  
— 積極的に親のミーティングを持ち、どのような態度で臨むべきかを話し合ってください。
- 10 忘れないでください。サッカーをするのはあなたの子供です。  
— あなたではありません。

## サポーターとして応援するときのマナー

ベンチサイド（監督選手の席側）の反対側で応援する。

・・・やむを得ずベンチ側に居るときは、大きな声での応援はしない。

ベンチの中からだけ選手に指示が出せるルールなのです。

ベンチの外から、又は、ベンチサイドの反対側から、指示となる声をだしてはいけません。

声援は

「がんばれ」「負けるな」程度が良いでしょう。

「そこでシュート！」「ドリブルしろ！」「ライン上げろ！！」

などは指示になりますので言ってはいけません。

子供たちの判断を尊重しましょう。